



最上町の新鮮な野菜を板橋区の子ども食堂にお届け

板橋区の子ども食堂からは、「新鮮でおいしい野菜を沢山届けていただきありがとうございます。」「カラフルで綺麗な野菜で、子供達も喜んで沢山食べてくれました。」など、感謝の声が沢山届いています。

高原の茶屋の皆さんは「今年は異常気象で大変な時もあつたが、子どもたちに喜んでもらえて嬉しかった。」と話されており、食を通じた交流が深まりました。調整や発送作業でご協力いただいた「NPO法人アルカディア」の皆様、大変ありがとうございました。



高原の茶屋の皆さん（上段左から大場良子さん、樋口ハマ子さん、佐藤かよ子さん、大場美佐子さん、下段の堀野拓美さん）



（※）「関東圏もがみ友の会」は関東在住の最上町出身者等で組織され、ふるさとである最上町の応援や魅力PRに取り組む団体です。友の会では随時会員を募集しておりますので、東京近郊にお住まいのご子息やご親戚、ご友人にご紹介いただければ幸いです。なお、年会費は1,000円となっています。

【子ども食堂支援に関すること】 総務企画課まちづくり推進室 43-2261
【関東圏もがみ友の会に関すること】 商工観光課観光振興室 43-2262

3地区で 地域食堂を開催

7月末から8月にかけて、大堀・向町・富沢の各地域で地域食堂が開催されました。

●ままけえ大堀食堂



大堀地区では7月31日に大堀地区コミュニティ推進会議主催の「ままけえ大堀食堂」が開催されました。子ども大人合わせて78名が参加し、「食育」をテーマに畑での収穫体験、アスパラ農家の見学などが行われ、昼食は地域の野菜をふんだんに使ったカレーがふるまわれました。

●わくわくキッズルーム



向町地区ではNPO法人アルカディアもがみが主催した「わくわくキッズルーム」が6日間の日程で開催され、延べ150名の子ども達が参加しました。そのうち3日間はこども食堂が開催され、ボランティアの方々による昼食提供がありました。（※）本活動には、関東圏もがみ友の会の義援金が活用されています。

●モグモグ食堂



富沢地区では8月4日に富沢地域間連携推進協議会主催の「モグモグ食堂」が開催されました。子ども大人合わせて30名が参加し、当日は「松葉会」の皆さんによる料理教室やスカットボールの体験活動も行われました。

今回開催された地域食堂は、子どもたちに野菜の収穫や調理等の体験を通して、食への関心を深めてもらうとともに、最上町の豊かな食文化を学ぶことを目的に開催されました。地域の方々やNPO法人の皆さんのアイデアが沢山詰まった本事業は、地区ごとに特色ある内容となっており、子どもと大人の多世代交流や地域の絆づくりという点でも貴重な機会となりました。